

地域防災計画及び栃木市防災ハザードマップについて

市、及び防災関係機関等は、法改正等必要に応じて本計画を修正し、災害対策の確立に万全を期する。特に、令和元年東日本台風では、市内（梅沢雨量観測局）で1日の降水量が約400mmを超える豪雨となり、さらに、国内では平成28年の熊本地震、令和2年7月豪雨など、本市においても教訓とすべき震災や豪雨災害が頻発していることから、令和5年度に、これらの災害から得られた教訓等を踏まえ、防災対策を総合的かつ計画的に推進するため、次の視点で本計画を修正した。

次回改定時期の設定はしていない。法令等の改正に準じて変更を行うもの。

- (1) 災害対策基本法等の災害対策関係法令の改正事項の反映
- (2) 防災基本計画、栃木県地域防災計画の修正を踏まえた対策の反映
- (3) 災害対応の検証結果を踏まえた対策の反映
- (4) 国内における災害による課題を踏まえた対策の反映

また、本計画の修正、具体策の立案に当たっては、栃木市防災対策推進委員会において検討する。

(栃木市HP-栃木市地域防災計画より抜粋)

図1に計画地周辺のハザードマップを示す。

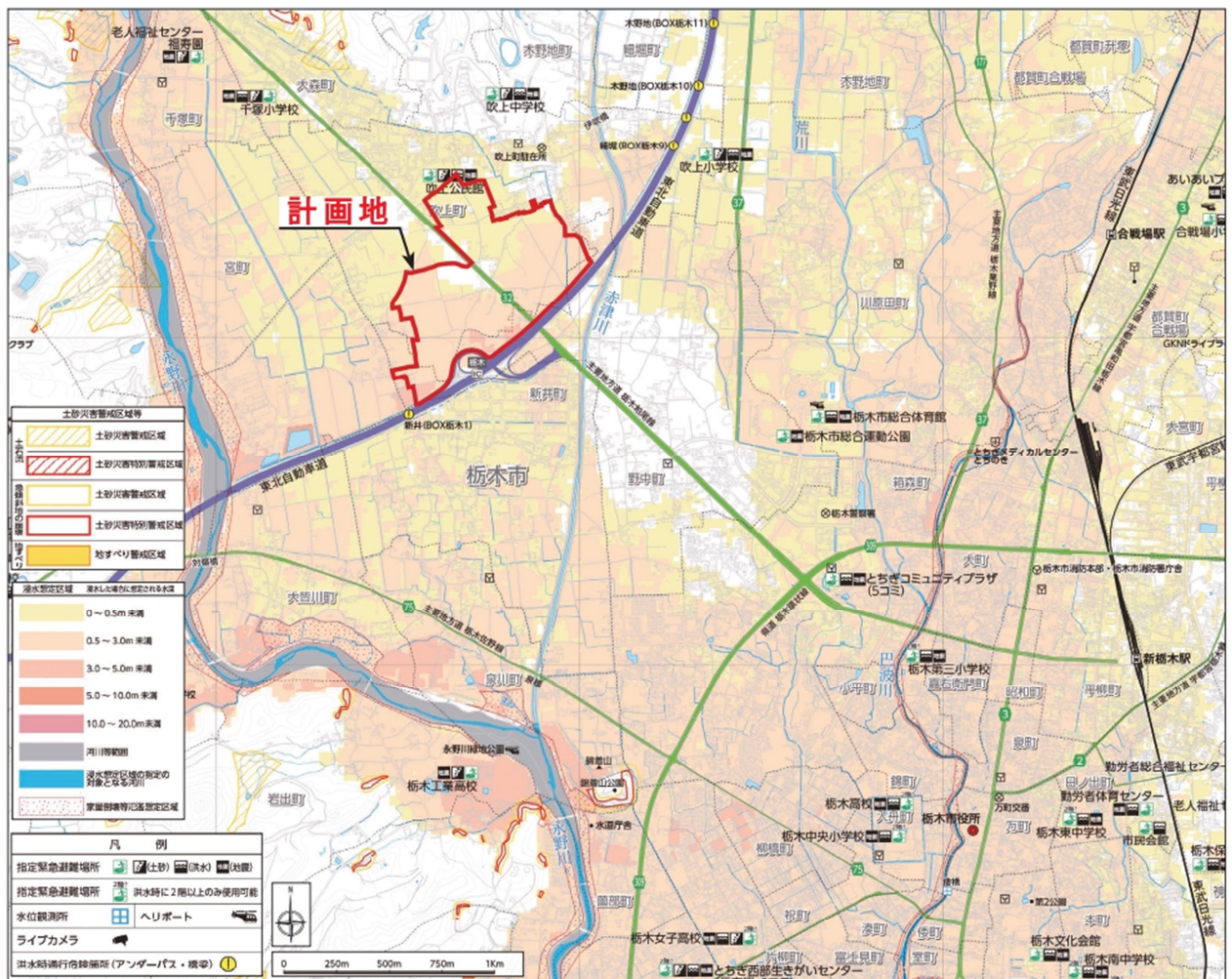


図1 ハザードマップ